

昼も夜も歩いて楽しめる魅力的な都市空間を創出するために、花畑広場を整備。

年間を通じ、民間事業者や市民の利活用を進めることで、まちの活力や賑わいを生み出す。



花畑広場



シンボルプロムナード



夜のイベントの様子

取組内容（補助年度：令和3年度）

- 「車中心から人中心」の考え方への転換を基本理念とし、市道を廃止して市公共文化施設等の跡地と合わせて広場として整備【補助金活用】
- 整備後は、指定管理制度を導入。官民双方による日常的な利活用を促進し、賑わい創出・まちなか回遊に繋げている。
 - ・隣接する熊本城ホールとの連携イベント
 - ・地元商店街との連携イベント
(街なか人生ゲーム、スタンプラリー等)
 - ・市が実施する「くまもと広場ニスト育成スクール」修了生の企画運営によるイベント(次ページ参照)など



ポイント

- 整備後の利活用を見据え、計画段階から周辺企業や関係機関を巻き込みながら事業を進めた。
- 広場内に電気、上下水道等の設備を整えるとともに、テント等の備品を収納する倉庫を整備することで、民間イベントへの貸出等、多目的な利用を可能とした。
- 補助金活用にあたり整備計画を策定する際には、目標指標の設定が重要であると感じた。

地域の声



熊本市中心部の交通結節点である桜町バスセンターに隣接しており、利便性と集客効果が期待できます。また、イベントに必要な設備や大型車搬入が可能で、設営撤去をスムーズに行うことができます。

担当者の声



花畑広場を訪れる皆さまに快適で魅力ある空間を提供するため、安心安全な管理運営に努めています。今後も指定管理者と連携しながら、より良い広場を目指していきます。

熊本市 市街地整備課 担当者



成果・今後の展開

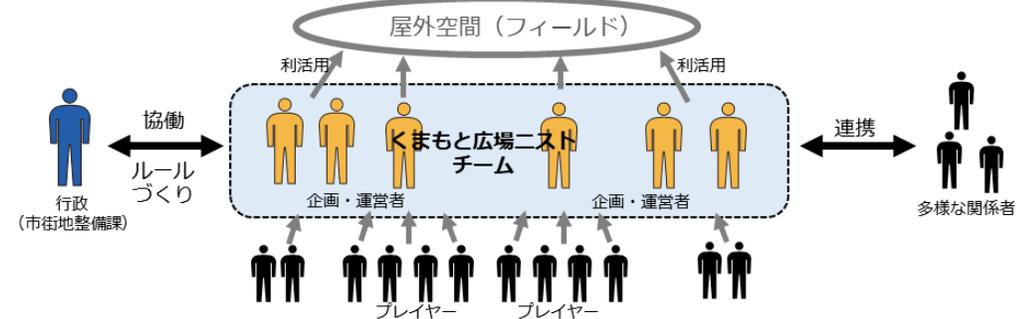
- 令和6年度の年間稼働率は66.1%（休日のみでは86.4%）、年間利用者数は約130万人。市内外から多くの人々が訪れ、まちなかに賑わいと回遊をもたらす空間となっている。今後は、平日の利活用促進や居心地がよく快適に過ごせる広場となるよう取り組んでいく。

花畑広場

くまもと街なか広場、隣接する花畑公園、辛島公園の総称。熊本城の近くに位置し、商店街、商業施設、バスセンターや市電が隣接・集積する立地。2023年グッドデザイン賞受賞。

くまもと広場ニストについて

- ・魅力と活力ある中心市街地の創造に向けて、人中心の「昼も夜も歩いて楽しめる、いつまでも魅力的なまち」の実現を目指している。そのためには、公共空間を「つくる」だけでなく、「つかう」ことが重要であり、官・民双方が日常的な公共空間の利活用を促進することとしている。
- ・くまもと広場ニストは「つかう」を体現するもので、地域をはじめとした多様な主体を主導し、公共空間に新たな価値を生み出す企画・運営者のことである。



育成スクール概要（R5～）

- ・公共空間を利活用するために必要となるノウハウやルールを学ぶもので、講座による学びやイベントの企画・収支計画の立案から実践（トライアルイベント）まで、公共空間を利活用する一連の流れを経験することができる。
- ・スクール修了後に、申請を受けて広場ニストとして認定を行う。
- ・一期生(R5)12名、二期生(R6)15名、合計27名を広場ニストとして認定済。
- ・令和7年度も継続してスクールを実施している。



R6 トライアルイベントチラシ

広場ニスト実績（R6）

- ・花畑広場や熊本駅前広場でイベントを企画運営するなど、屋外公共空間において多様な活動を行っている。
- ・熊本城ホールや地域の商店街や学校等での実績もある。
- ・一期生のなかには、数名でグループを組んでイベント実施したり、法人化を見据えるなど、スクールを契機として活動の幅を広げる方々も現れてきている。



花畑GWスポーツ×マルシェ (R6.4.27～28)



七夕縁日inエキマエ (R6.7.6)



熊本駅前スポーツイベント (R6.9.8)